

研究課題番号	SⅡ-8
研究課題名	温室効果ガス収支のマルチスケール監視とモデル高度化に関する統合的研究
研究実施期間	2021 年度～2023 年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	伊藤昭彦

1. 委員の指摘及び提言概要

プロジェクト全体として目標を上回る研究成果が得られている。論文発表、口頭発表、国民との科学・技術対話も十分に行われており、かつ国際共同研究も推進しており、研究成果による受賞も高く評価する。トップダウンとボトムアップの双方による温室効果ガス収支の評価に貢献している。また、その総合的解析システムの開発は、世界的にみても独自性のある高い質の研究である。3つの研究テーマ及びサブテーマ間の連携は良いが、それらがさらに持続的に運用できるような統合的研究の段階に進んでいただきたい。今後も他の課題等で費用を確保しながら、構築した観測網を維持することを期待する。また、本プロジェクトからは IPCC や 2023 年のグローバルストックテイクへの日本からの報告書に適切なタイミングで情報提供を行った。アジア地域の排出量の推定など、排出削減目標の達成状況の評価に活用しうるものであり、今後の環境政策への貢献が期待できる。

2. 採点結果

評価ランク：S